

授業科目 解剖学II

【担当教員】		対象学年	1	対象学科	理学・作業
山田 まりえ、笹 川 一 郎		開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【概要・一般目標：GI0】 解剖学IIでは、特に運動器について骨学、関節・靭帯学、筋学に系統的に分け、それぞれについて名称、位置、構造、機能、ならびに それらの相互関係を理解する。さらに神経系（中枢神経系、末梢神経系）について、その構造・機能を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 骨格系の機能を概説できる。 2. 全身の個々の骨を見分け、名称を言える。 3. 椎骨の基本構造、頸椎・胸椎・腰椎の特色を説明できる。 4. 椎間円板、脊柱彎曲の意義を説明できる。 5. 上肢・下肢の比較し、各骨の臍部の名称を言える。 6. 骨の連結の種類を説明できる。 7. 関節の分類と代表例を説明できる。 8. 滑膜性連結と靭帯を説明できる。 9. 筋の種類、形態的特徴を理解し、体内の分布を説明できる。 10. 骨格筋の構造とその付属器を概説できる。 11. 主な骨格筋の名称、起始・停止、支配神経を理解し、簡単な作用を説明できる。 12. 神経系を構造、機能の観点から分類し、それぞれを概説できる。 13. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。 14. 中枢神経系を区分し、各々の機能を概説できる。 15. 脳神経の番号、名称、主たる働きを説明できる。 16. 脊髄神経を概説し、4つの神経叢の神経分布を説明できる。 17. 交感神経系・副交感神経系について構造と機能を概説できる。 18. 運動路、知覚路を概説できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨とは	骨学総論		1, 2	講義、担当：山田 まりえ
2	骨学各論	頭蓋		2	講義、担当：山田 まりえ
3		脊柱		3	講義、担当：山田 まりえ
4		胸郭		2	講義、担当：山田 まりえ
5		上肢		5	講義、担当：山田 まりえ
6		下肢		5	講義、担当：山田 まりえ
7	関節・靭帯	総論		6	講義、担当：山田 まりえ
8	関節・靭帯	各論	頭蓋の連結	7	講義、担当：山田 まりえ
9			脊柱、脊柱と頭蓋の連結	8	講義、担当：山田 まりえ
10			上肢の連結- 1	8	講義、担当：山田 まりえ
11			上肢の連結- 2	8	講義、担当：山田 まりえ
12			下肢の連結- 1	8	講義、担当：山田 まりえ
13			下肢の連結- 2	8	講義、担当：山田 まりえ
14	筋学	筋学総論		9, 10	講義、担当：山田 まりえ
15		筋学各論	頭部の筋	11	講義、担当：山田 まりえ
16			体幹の筋- 1	11	講義、担当：山田 まりえ
17			上肢の筋- 1	11	講義、担当：山田 まりえ
18			上肢の筋- 2	11	講義、担当：山田 まりえ
19			下肢の筋- 1	11	講義、担当：山田 まりえ
20			下肢の筋- 2	11	講義、担当：山田 まりえ
21	神経学	神経学総論		12	講義、担当：笹川 一郎
22		神経学各論	神経とは	12	講義、担当：笹川 一郎
23			中枢神経系- 1	13	講義、担当：笹川 一郎
24			中枢神経系- 2	14	講義、担当：笹川 一郎
25			末梢神経系- 1	15	講義、担当：笹川 一郎
26			末梢神経系- 2	16	講義、担当：笹川 一郎
27			交感神経系	17	講義、担当：笹川 一郎
28			副交感神経系	17	講義、担当：笹川 一郎
29			伝導路- 1	18	講義、担当：笹川 一郎
30			伝導路- 2	18	講義、担当：笹川 一郎
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	南江堂	2000・5,000円
(必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、小テスト、期末試験の総合評価		不定期に小テストを実施します。総合評価にいらしますので、欠席をしないよう注意すること。勉学範囲が広いので、日頃の復習が重要です。			